

ゴルフ道具から感じた和洋の違い

私、開土研の中では他の方と比較してゴルフをする回数が多い方だと思いますが、時々ゴルフ道具を見て考えることがあります。仮にゴルフというゲームが日本で生まれていたら、はたしてどんな道具になっていたんだろうかと思うのです。おそらく、クラブは1本だったのではないのでしょうか。

そもそも日本の道具というのは、日本人の器用さもあるのか、箸、風呂敷、懐紙、手ぬぐいなど一つで何でもできるというのが多いのではないのでしょうか。部屋にしても、布団を敷けば寝室、お膳を出せばダイニング、文机を出せば書斎。そういうのが多いと思うのですが。

一方、西洋はいかがか。フォークにナイフにスプーン、ハンドバッグにスーツケース、ハンカチにナプキン、リビングルームにダイニングルームにベッドルームに書斎。ゴルフならパターにショートアイアンにミドルアイアンにロングアイアンにフェアウエーウッドにドライバー。土地が広いのか裕福なのか、実に多彩です。

仮にルールを改正して、ゴルフをクラブ1本でしかできなくすれば、あるいは日本人がメジャー4連勝するかもしれません、なんて考えているのは私だけ、でしょうね。

今度、3本くらいだけ使ってラウンドしてみようかしら…。

交通研究室長 浅野 基樹

* * * *

表紙右上記号 ISSN 0914-8159の説明

ISSN は International Standard Serial Number (国際標準逐次刊行物番号) の略で、逐次刊行物に付与される国際的なコード番号で、ISSD (国際逐次刊行物データシステム) という組織のもとで逐次刊行物の組織や検索に利用されます。この番号は国立国会図書館 ISSD 日本センターから割り当てられたものです。